

令和元年 7月 4日
松山河川国道事務所防災課

TEC-FORCEを派遣します

梅雨前線による大雨がもたらした災害の迅速な調査を支援するため、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）を九州地方整備局管内に派遣します。

職員の派遣を行うにあたり、本日（7月4日）17：00より、松山河川国道事務所玄関にて出発式を行います。

今回、松山河川国道事務所から出発する部隊は、以下のとおりです。

TEC-FORCE	河川班	1名
TEC-FORCE	道路班	4名

（四国地方整備局としては総勢22名）

※ TEC-FORCEの詳細については下記ホームページをご覧ください。
<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/pch-tec/index.html>

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への『支国』防災力向上プロジェクト」に該当します。

問い合わせ先： 四国地方整備局松山河川国道事務所

	副所長（河川）	笠井 博之	（内線：204）
◎	防災課長	大内 清司	（内線：281）
	代表	089-972-0034	
	直通	089-972-7289	
	FAX	089-972-0004	

◎：主な問い合わせ先

TEC-FORCEとは

※TEC-FORCE(TEchnical Emergency Control FORCE):緊急災害対策派遣隊

- 大規模自然災害への備えとして、迅速に地方公共団体等への支援が行えるよう、平成20年4月にTEC-FORCEを創設し、平成30年で10年を迎えた
- TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際して、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施
- 本省災害対策本部長等の指揮命令のもと、全国の地方整備局等の職員が活動(12,654名の職員を予め指名(H31.4.1現在))
- TEC-FORCEは「南海トラフ地震防災対策推進基本計画(H26.3中央防災会議)」、「首都直下地震緊急対策推進基本計画(H27.3閣議決定)」等に位置付けられている

活動内容

災害対策用ヘリコプターによる被災状況調査



【H27.9 関東・東北豪雨】
(茨城県常総市)

市町村へのリエゾン派遣



【H27.5 口永良部島の火山活動】
(鹿児島県屋久島町)

被災状況の把握



【H29.7 九州北部豪雨】
(福岡県東峰村)

Ku-SAT※による監視体制確保



【H26.9 御嶽山の噴火】(長野県王滝村)
※Ku-SAT:小型衛星画像伝送装置

自治体への技術的助言



【H28.4 熊本地震】
(熊本県庁)

排水ポンプ車による緊急排水



【H30.7月豪雨】
(岡山県倉敷市真備町)

捜索活動への技術的助言



【H28.4 熊本地震】
(熊本県南阿蘇村)